きらりん　えがお

№１０

令和６年９月１２日
平田幼稚園
園長　田中佳江

二学期が始まりました。今年の夏は危険なほどの気温の日が続きました。また、各地で災害も起こりました。いずれも自分事として身を守る大切さを感じました。一方、明るいニュースもありました。パリオリンピック・パラリンピックでの選手の活躍や、夏の甲子園大会で地元大社高校が強豪校と対戦して勝ち進むなど、たくさんの元気や勇気をもらいました。そうした選手たちの姿を見て、「自分の目標に向かって力を出し切る」「ミスをしても、気持ちを切り替える」「不利な状況になっても諦めず、最後まで全力を尽くす」「仲間を信頼し、声を掛け合ったり、助け合ったり、喜びや悔しさを共有する」など、幼児期に大切に育てたい力が、大きく花開いて活躍していることに気が付きました。私たちのしている幼児教育はすぐには結果は出ないけれど、子ども達の力を信じ、一人一人と向き合い、より良い成長のために私たち大人が関わっていくことで、無限の可能性を自分らしく伸ばしていくことができると、改めて感じました。

二学期は、運動会・生活発表会などの行事があったり、それぞれのクラスでの活動が充実していく時期です。子ども達の願いをしっかりと受け止め、のびのびと成長していけるように職員一同努めていきます。二学期もよろしくお願いいたします。

運動会に向かって

・年長児は、始業式の翌日から昨年度のことを思い出し、バトンを出してリレー遊びを楽しんでいます。最初は、ひたすら走るエンドレスリレーだったり、誰にバトンを渡していいかわからなくて同じ子が何回も走ったりしていました。でも少しずつ「チームに分かれたら？」「並んだ方が分かりやすいよ」「トラックの線の外を走らんとダメだよ」など、考えを出したり、困ったことを訴えたりして、みんなでリレーを楽しむにはどうしたらよいかという共通の思いで取り組むようになってきているようです。これから先、勝ち負けがあって、悔しい思いをしたり、トラブルもあったりすることでしょう。でもみんなで考え、よろこびや悔しさを共有し、チームで力を出し切る心地よさを味わってほしいと思います。また、それぞれのご家庭で見たり話題になったりしたオリンピック・パラリンピック・高校野球の記事が載っている新聞から、自分が気に入った写真を切り抜いて大きな紙に貼り、自分達もこんな風にかっこよくなりたいと思っているようです。

・毎朝ぐんぐんタイムで、運動会で行う体操を全園児でしています。お手本の年長児が前に出て体操します。年中・年少児はこの姿を見て振りを覚えていきますが、二学期になって年中児が一生懸命お手本の年長児を見て体を動かすようになってきました。体の発達で、一学期よりも自分の手足などを思うように動かせるようになってきたこともあるでしょうが、「お手本を見て、しっかり覚えよう」という気持ちも出てきたようで、成長を感じます。

・ある日の給食後に年少組へ行ってみると、保育室の雑巾がけを始めようとしていました。「もう雑巾がけもできるようになったんだな」と見ていたら、まだまだすごいことが始まりました。一列に並んで担任が「〇君」と名前を呼ぶと「はい！」と返事をします。全員の名前を呼んだ後、「よーいドン！」の掛け声で雑巾がけをしました。腕の力や体幹が随分しっかりしてきて雑巾がけが上手くできるようになったことも驚きですが、雑巾がけという普段の生活の中でかけっこの時に行う「名前を呼んだら返事をしてスタートする」ということをすることで、無理なく運動会に向かえるようにしている援助に「担任ってすごい！！」と改めて感じました。

裏面へ

いろいろな体験をしています。心の耕しやその後の活動につながるように･･･

〇３日（火）年長児が理科体験学習に参加しました。大津幼稚園、東幼稚園の年長児と合同で、大津幼稚園を会場に、科学館の方が講師となって「光の不思議」を体験しました。ハートが描いてある赤・青・黄の紙に、その３色の光を当てると、くっきりハートの形が見えるものや、ぼんやりとした形にしか見えないものがあり「何でだろうね～」と不思議に思って繰り返し見たり、いろいろな色が映し出される『魔法のシート』を、画用紙の小さい穴に貼って覗くと、見る場所によって（光の当たり方によって）いろいろな色が見えたり、虹色に見えたり、花火のような形に見えたりして大喜びでした。光の要素や屈折など、難しいことはわからなくても、「身近にある光って不思議だなぁ」「どうしてかなぁ」という気持ちをもってくれると嬉しいです。

〇６日（金）は祖父母保育公開日でした。平田楽園クラブの皆さんにお手伝いいただき、水鉄砲やコマ回し、新聞紙の遊び、お手玉などの昔ながらの遊びを、来てくださった祖父母の方々やおうちの方と一緒に楽しみました。今回は参加人数制限無しとしたので、大変賑やかな遊びの時間でした。水鉄砲で的に水を飛ばすはずが自分にかかったり、コマの紐の巻き方を教わったり、新聞紙の兜を喜んでかぶったり・・・。また祖父母やおうちの方々も、楽園クラブさんに兜の折り方を習ったり、あやとりを教わったり、中にはおじいさんがコマ回しに夢中になる姿もあり、子ども達も祖父母やおうちの方も笑顔いっぱいで、和やかな雰囲気のひと時でした。祖父母の方々や楽園クラブの皆さんから「子ども達から元気をもらいました。」「笑顔で一緒に遊べたことは私の宝物です」という感想をいただきました。子ども達も、祖父母の方々やおうちの方の優しいまなざしや包み込んでくださる優しさは、ずっと心に残ることでしょう。

〇９日（月）は年長児、１２日（木）は年中・年少児の園外保育を行いました。一学期に平田船川に親しんだ年長児は、宍道湖グリーンパークで宍道湖を間近に見たり、北浜の河下の浜辺で貝などを拾ったりしました。バスから見える船川にも「水門があったよ」と大喜びでした。年中・年少児は大好きな生き物により関心を高めようと、年中児は宍道湖グリーンパークで鳥を見たり、年少児はゴビウスでいろいろな生き物を見たりしました。行きの電車もとっても楽しかったようです。こうした園外保育が、二学期の活動にどんな風に活かされていくのかとても楽しみです。

〇１１日（水）は地域の方の田んぼで、年長児が稲刈り体験をしました。いつもは徒歩で行くのですが、熱中症アラートも出ている暑さの中、子ども達の健康面を配慮して急遽幼稚園バスをお願いし、バスで往復しました。田んぼでは、稲刈り機でどんどん稲が刈られていく様子を見た後、いよいよ鎌を使って一人２回稲刈りをしました。「なかなか切れない」と一生懸命刈った後、「できたよ！」と嬉しそうに稲を抱える姿が印象的でした。稲刈りをしたお米を収穫祭で食べるのが楽しみです。

「いろんな色が見える！」

「おばあちゃんとお揃いの兜だね」

「これが船川からつながってる宍道湖！大きいね」

「電車、ガタンゴトン楽しいね」年少

「あっ鳥がいる！」「こっちにも」年中

「稲刈り、ちょっと難しいわ」年長